

2008年5月29日



第10期(2008年3月期) 決算のご説明

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
(大証ヘラクレス,証券コード8462)

本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券及び当社が管理運営するファンドへの投資勧誘を目的とするものではありません。また、本資料に掲載されている事項は資料作成時点において入手した情報に基づいたものですが、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。今後、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

この資料での数値は、特に指定がない限りすべて2008年3月末現在のものです。

1. 当期決算を見る上での注意点

本資料における記載数値について



当社では連結での決算を行っておりますが、当社の経営成績及び財務状態をよりの確に表すため、本資料では基本的に従来どおり個別での財務数値を記載しております。

【連結の対象となる投資事業組合】

連結子会社数 : 31組合
出資金総額 : 32,298百万円
(うち、外部出資者の持分 27,554百万円)

【個別決算と連結決算の主な相違点】

投資事業組合を連結することにより外部出資者の持分が連結損益計算書、連結貸借対照表に含まれます。

○連結損益計算書

- ・外部出資者の持分が売上や売上原価に含まれるため、**損益にも外部出資者の持分が含まれることとなります。**
- ・外部出資者の持分である損益は、「少数株主損益」として控除されます。
- ・**投資事業組合等管理報酬が内部取引とみなされ、売上に計上されなくなります。**

○連結貸借対照表

- ・**自己資本比率が低下します。**外部出資者の持分が「純資産」に含まれるためです。

1. 当期決算を見る上での注意点

【貸借対照表】個別決算と連結決算の差異 (主要項目抜粋)



(単位: 百万円)

	個別	連結	差異の理由
流動資産	3,834	20,015	
現金および預金	1,110	5,903	個別ではファンドの当社持分のみ取り込んでいたが、連結ではファンド全体の資産を取り込む。
営業投資有価証券	2,900	17,186	
投資損失引当金	△540	△3,110	
固定資産	214	214	ファンドには固定資産がないため、変動せず。
流動負債	2,224	2,532	ファンドの未払金などの負債を、個別ではファンドの当社持分のみ取り込んでいたが、連結ではファンド全体で取り込む。
固定負債	177	177	
純資産	1,647	17,520	
少数株主持分	—	15,792	ファンドの当社持分以外の出資者持分を少数株主持分として計上する。
資産合計	4,049	20,230	
自己資本比率	40.7%	8.5%	少数株主持分は自己資本比率の計算に入らないため、連結では自己資本比率が大幅に下がる。

1. 当期決算を見る上での注意点

【損益計算書】個別決算と連結決算の差異 (主要項目抜粋)



(単位: 百万円)

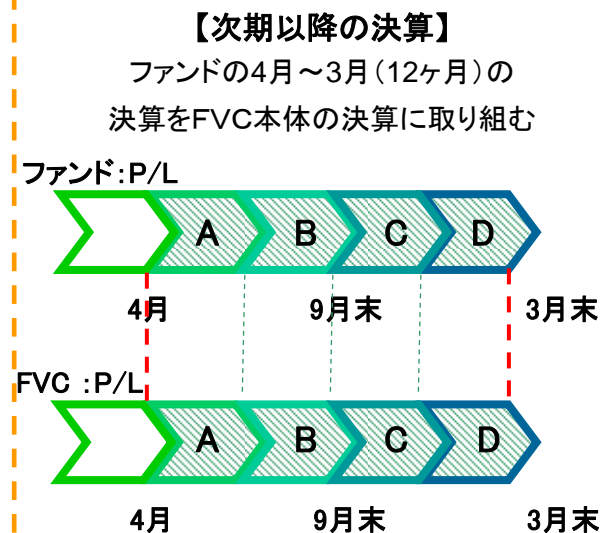
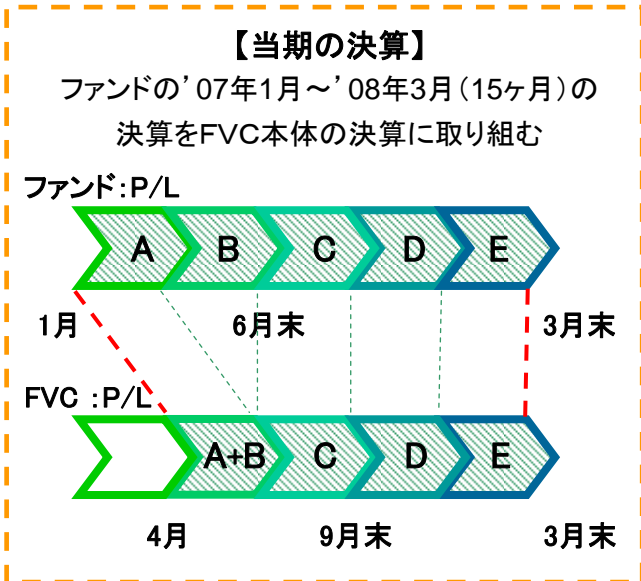
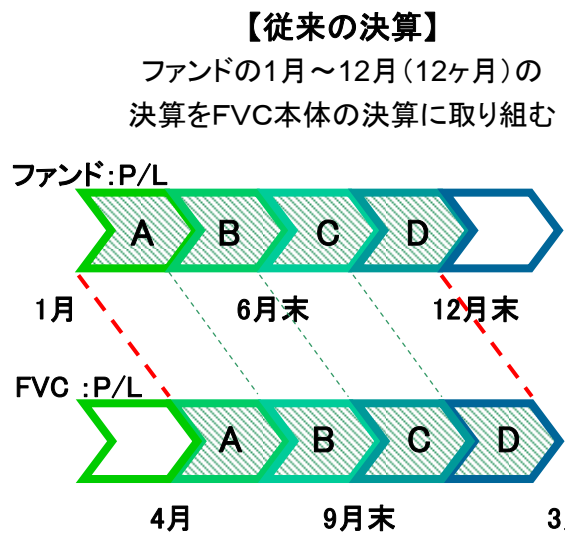
	個別	連結	差異の理由
売上高	807	376	
投資事業組合等管理収入	682	—	ファンドからの管理報酬・成功報酬は、連結では内部取引となるため相殺される。
営業投資有価証券売上高	33	281	個別ではファンドの当社持分のみ取り込んでいたが、連結ではファンド全体の売上高を取り込む。
売上原価	1,211	3,727	
営業投資有価証券売上原価	64	629	個別ではファンドの当社持分のみ取り込んでいたが、連結ではファンド全体の原価・引当金繰入を取り込む。
投資損失引当金繰入額	384	2,404	
その他の売上原価	763	692	ファンドの管理費用等について、連結では内部取引となるため相殺される。
売上総利益(△損失)	△ 404	△ 3,351	
販売費及び一般管理費	332	366	ファンドの監査費用などの費用が、連結ではファンド全体の金額を取り込むこととなる。
営業利益(△損失)	△ 736	△ 3,717	
経常利益(△損失)	△ 788	△ 3,769	
税引前当期純利益(△損失)	△ 788	△ 3,769	
少数株主利益(△損失)	—	△ 3,104	上記からファンドの当社持分以外の出資者持分に係る損失を控除する。
当期純利益(△損失)	△ 800	△ 676	純損失の額は、基本的に個別と連結で一致する。当期のずれは、当社決算時期とファンド決算時期のずれによるもの。 ※次ページ参照

1. 当期決算を見る上での注意点

投資事業組合への出資金に係る会計処理について（個別）



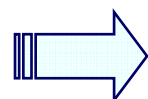
当期決算におきましては、ファンドの15カ月分（'07年1月～'08年3月）の収益及び費用を当社の出資持分割合に応じて、FVC本体の決算に計上しております。



【会計方針の変更による主な影響（個別）】

売上高	10,696千円	減少
売上原価	236,144千円	増加
販売費及び一般管理費	350千円	増加

《損益計算書》



売上総利益	246,841千円	減少
営業利益	247,191千円	減少
経常利益	247,250千円	減少
当期純利益	247,250千円	減少

売上原価等の大幅な増加により利益が減少。当期決算では上記の利益減少を含んで掲載しています。

2. 当期決算・営業活動の概要

第10期決算(2008年3月期) (個別)



	第8期 2006年3月期 2005/9～2006/3【7ヶ月】	第9期 2007年3月期 2006/4～2007/3	第10期 2008年3月期 2007/4～2008/3
売上高	488百万円	892百万円	807百万円
営業利益(△損失)	53百万円	△49百万円	△736百万円
経常利益(△損失)	35百万円	△66百万円	△788百万円
当期純利益(△損失)	32百万円	△74百万円	△800百万円
純資産	2,514百万円	2,448百万円	1,647百万円
総資産	3,237百万円	3,923百万円	4,049百万円
自己資本比率	77.7%	62.4%	40.7%

最終赤字の要因

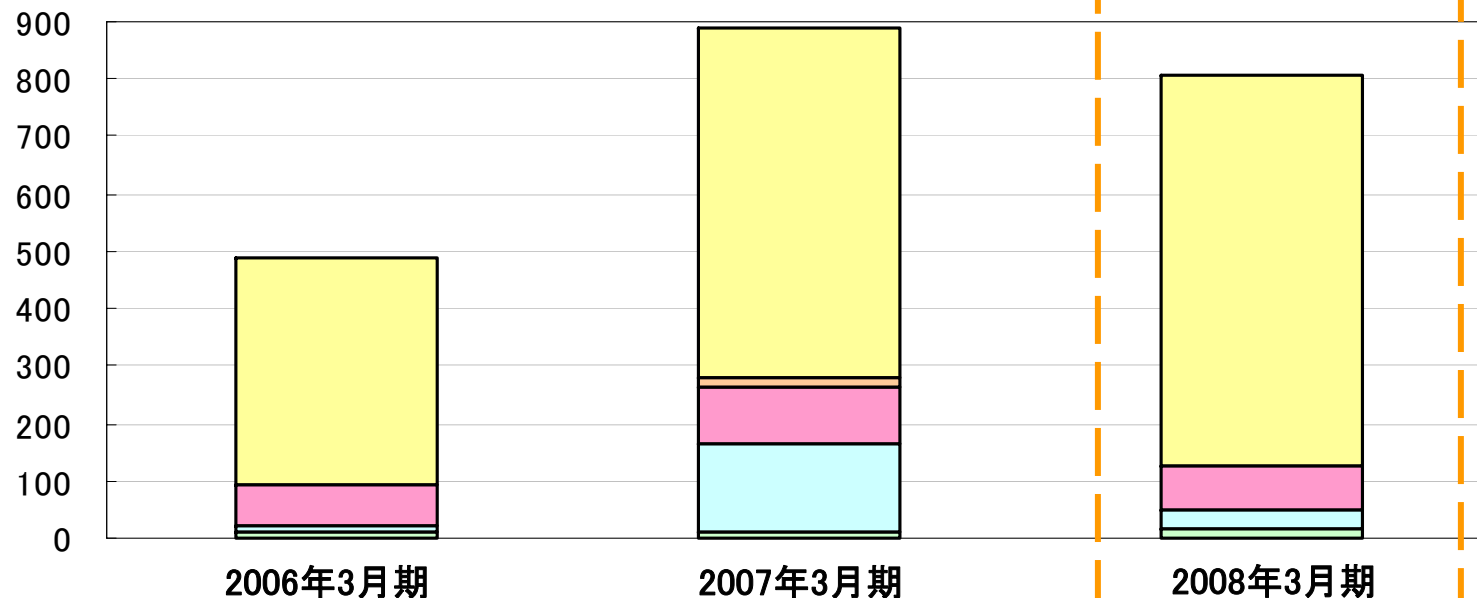
1. 大型ファンドの投資組入による投資残高の増加にともなう投資損失引当金の大幅な積み増し
→ 2005年設立の100億円ファンド「FVCグロースファンド」がちょうどJカーブの底に入っている
2. 新規上場市場の低迷と上場審査の厳格化による上場予定投資先企業の上場延期
→ 期中の上場達成企業は結局0社に
3. サブプライム問題等による証券市場環境の悪化が機関投資家の投資マインドの冷え込みを招き、ファンド募集に影響
→ 100億円ファンドの後継として設立したファンドが募集計画を大幅に未達成

2. 当期決算・営業活動の概要

売上高内訳・過年度比較 (個別)



(単位: 百万円)



2006年3月期

2007年3月期

2008年3月期

2005/9~2006/3【7ヶ月】

2006/4~2007/3

2007/4~2008/3

投資事業組合等管理業務	391	80.1%	627	70.3%	682	84.6%
(うち、成功報酬)	(0)	-	(18)	-	(2)	-
コンサルティング業務	73	15.1%	101	11.3%	77	9.5%
営業投資有価証券売上高	12	2.5%	151	17.0%	33	4.1%
その他	11	2.3%	12	1.4%	14	1.8%
計	488	100.0%	892	100.0%	807	100.0%

2. 当期決算・営業活動の概要

営業投資有価証券にかかる損益の詳細 (個別)



(単位: 千円)

	上場 有価証券	未上場 有価証券	減損	投資損失引当金 新規繰入	合計
①営業投資有価証券 売却高※1	3,088	22,944	-	-	26,032
②売却原価	1,785	34,013	28,396	-	64,194
③売買損益 (①-②)	1,303	△ 11,069	△ 28,396	-	△ 38,162
④投資損失引当金 繰入額(△戻入額)	-	※2 △ 55,455	△ 9,205	448,673	384,013
会計上損益 (③-④)	1,303	44,386	△ 19,191	△ 448,673	△ 422,175

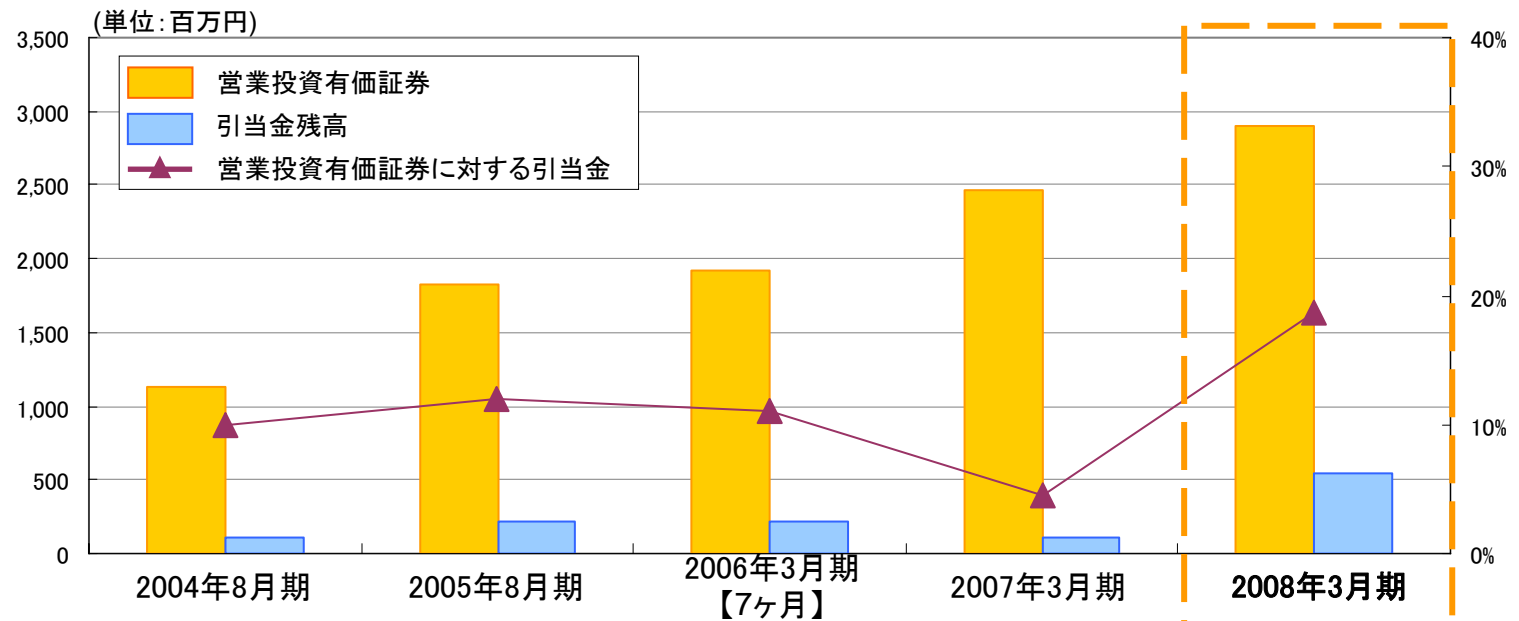
※1 損益計算書上の「営業投資有価証券売上高」には、投資先企業株式・債券からの配当・利子を含むため、本表の数値とは異なります。

※2 未上場有価証券の投資損失引当金繰入額(△戻入額)には、社債償還等による戻入額が含まれています。

**上場会社が出なかったことから、営業投資有価証券売却高が減少。
Non-Cash項目である投資損失引当金の大幅な繰入により、大きく損失が発生。**

2. 当期決算・営業活動の概要

営業投資有価証券と投資損失引当金の推移 (個別)



営業投資有価証券 ^{※1}	1,126	1,831	1,927	2,463	2,900
引当金繰入額 (△戻入額)	6	119	△4	△100	384
引当金残高	112	217	212	112	540
営業投資有価証券に 対する引当率	9.9%	11.9%	11.0%	4.6%	18.6%

※1 2005年8月期より、営業投資有価証券には営業出資金が含まれております。

投資損失引当金残高の水準は過去最高に。

2. 当期決算・営業活動の概要



2008年3月期に新設・増額したファンド

【新設ファンド】

2007年6月

あおもりクリエイティブファンド投資事業有限責任組合

青森県内を中心に東北地域に拠点を持つ、中小ベンチャー企業への投資・育成を目的として設立

ファンド総額 22.15億円

【既存ファンドの増減】

さかいベンチャー育成投資事業有限責任組合

当期増加金額

2.7億円

増減後ファンド総額

9.2億円

FVCグロース二号投資事業有限責任組合

当期増加金額

1.0億円

当期減少金額

20.0億円

増減後ファンド総額

19億円

2008年3月期 ファンド増減額

増加額：計 25.85億円

減少額：計 20.0億円

機関投資家向けファンドが計画未達。地方ファンドは堅調に組成。

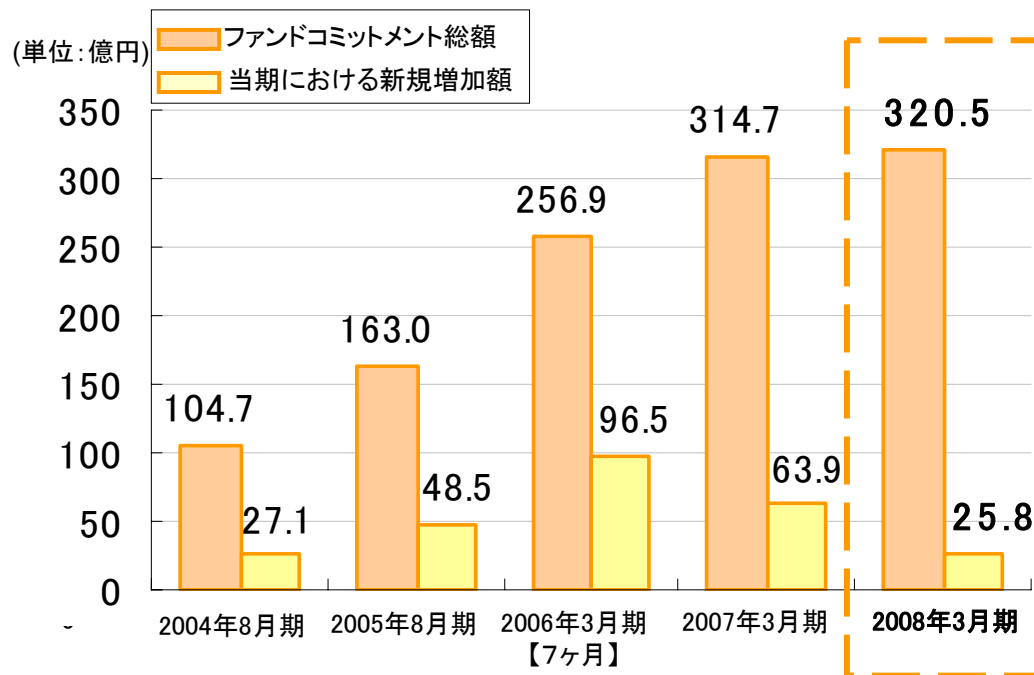
2. 当期決算・営業活動の概要

ファンドコミットメント総額の推移

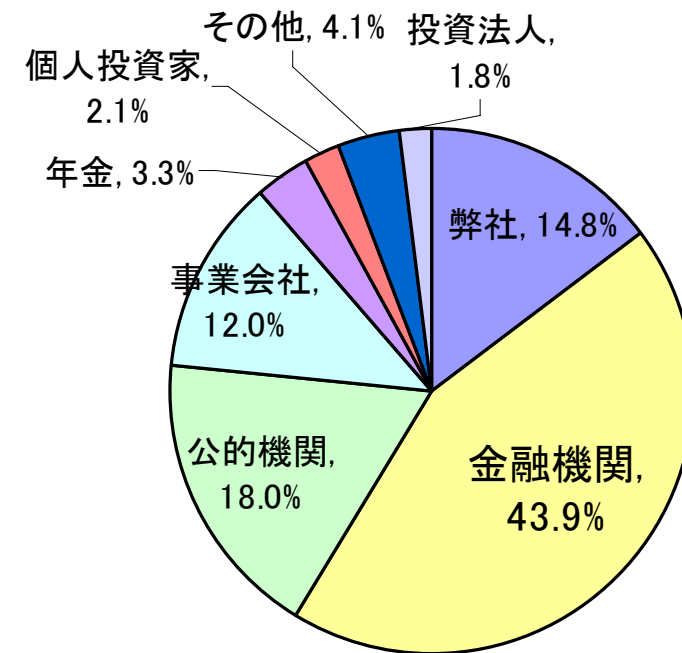


2008年3月期末現在のファンドコミットメント総額 28ファンド 320.5億円
(子ファンドは含めておりません)

ファンドコミットメント総額の推移

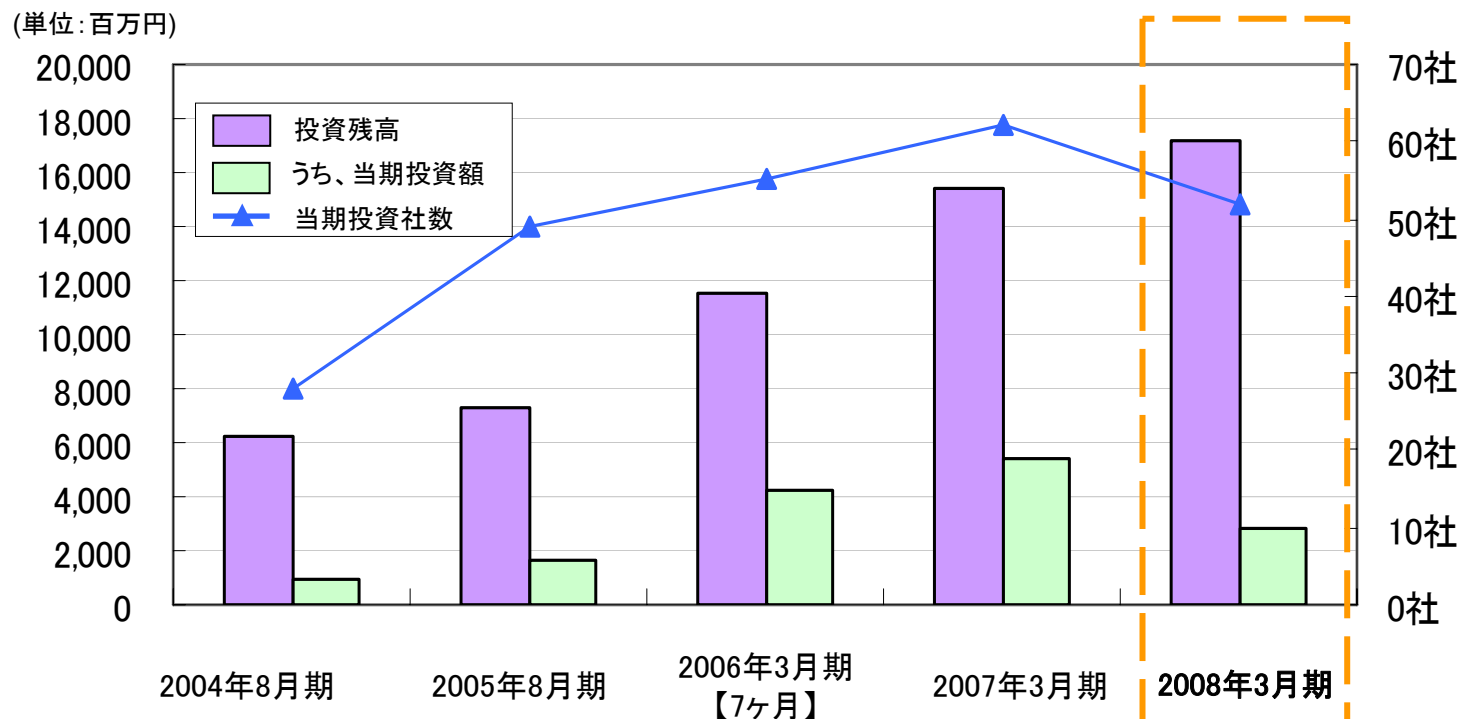


ファンド出資者構成



2. 当期決算・営業活動の概要

投資金額・投資社数の推移



(単位: 百万円)

投資残高	6,225	7,346	11,471	15,045	17,186
うち、当期投資額	905	1,593	4,270	5,355	2,814
当期投資社数 [右軸]	28社	49社	55社	62社	52社
一社当たり投資金額 ^{※1}	32.3	32.5	77.6	86.4	54.1

※1 一社当たり投資金額 = 当期投資額 ÷ 当期投資社数

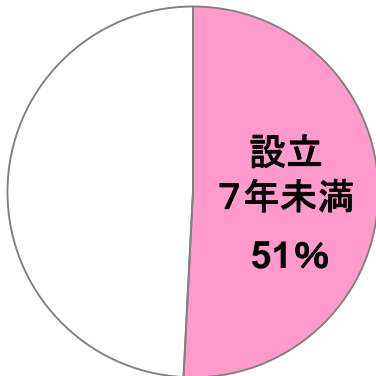
2. 当期決算・営業活動の概要

当期投資ポートフォリオ (2007年4月～2008年3月)



当期投資金額 2,814 百万円 投資社数 52社

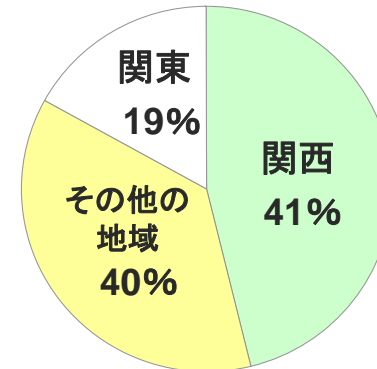
設立年別分類



(金額ベース)

※当期新規投資企業のみ

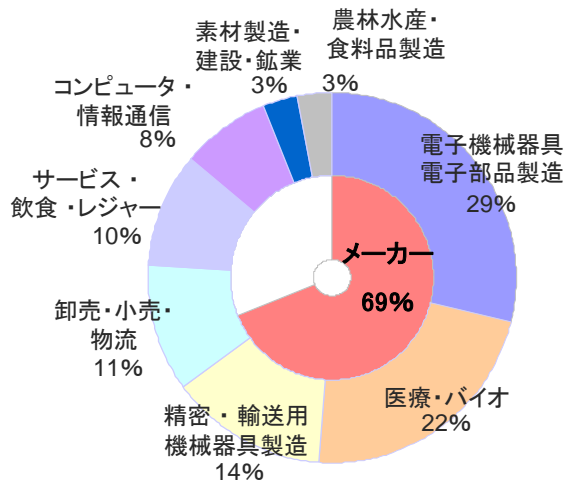
地域別分類



(金額ベース)

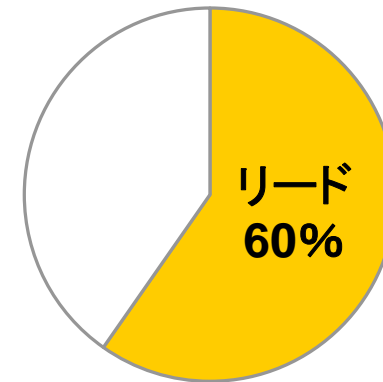
関西・・・大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山
 その他の地域・・・石川、三重、岩手、福井、山形 等
 関東・・・東京、茨城、神奈川、群馬、千葉、埼玉、山梨、栃木

業種別分類



(金額ベース)

リードインベスターとして
投資している先



(件数ベース)

2. 当期決算・営業活動の概要

投資残高ポートフォリオ

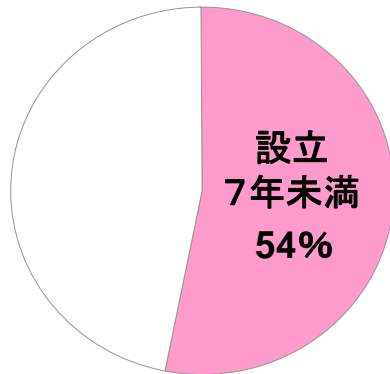
(2008年3月末現在)



投資残高金額 17,186 百万円

投資残高社数 219社

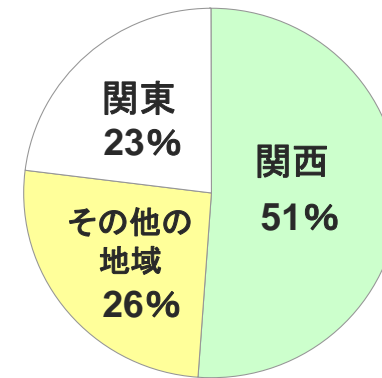
設立年別分類



(金額ベース)

※初回投資時点の設立後経過年数

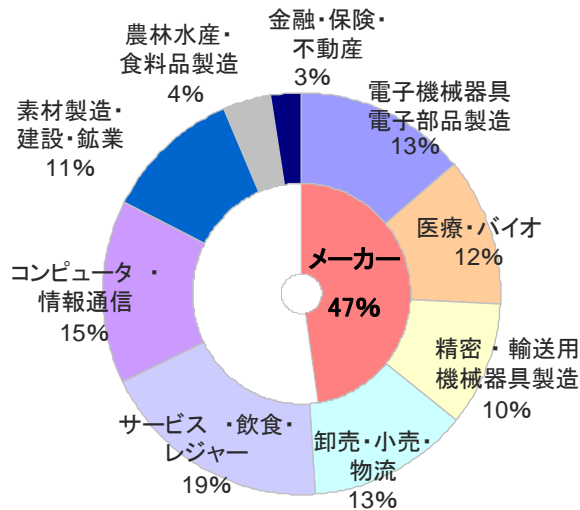
地域別分類



(金額ベース)

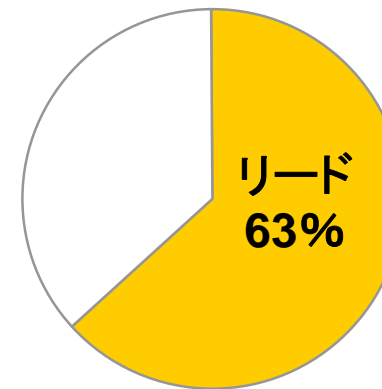
関西・・・大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山
 その他の地域・・・石川、三重、岩手、福井、山形 等
 関東・・・東京、茨城、神奈川、群馬、千葉、埼玉、山梨、栃木

業種別分類



(金額ベース)

リードインベスターとして投資している先



(件数ベース)

※30社に非常勤役員として派遣しています

FVCの創業理念と3つの特徴

創業理念

経営者の夢の実現を応援する

本当に資金が必要な時に投資

企業価値を向上させることが
リターンの源泉

当社の機能を必要とする
地域への進出

アーリーステージ
企業へ投資

積極的な
経営支援

地方での
投資育成活動

～市場環境の影響をおさえた収益の確保～

EXITの多様化

IPO以外による 株式売却益の確保

IPOだけでなく未上場段階でのM&Aなども視野に入れたEXITを促進します。

地域展開の 推進

堅調なニーズ 当社の強みを伸ばす

市場低迷時も堅調なニーズがある地域での投資活動、ファンド組成を推進し、当社の強みを伸ばします。

多角的な 収益の増大

ノウハウ・ネットワークを 活かして

投資育成業務で培ったノウハウ等を用いた投資業務以外の収益を拡大します。

EXITの多様化

EXITの多様化

基本的には、投資先企業のIPOによるキャピタルゲインの増大を図りますが、新興市場等の外部環境を考慮した上で、IPOだけでなく未上場段階でのM&Aなども視野に入れたEXIT体制を構築します。

～外部環境～

平成19年における新規上場企業数
121社(前年比67社減)
うち、上場初値が公募割れした企業
29社(上場企業全体の約24%)
新規上場市場の低迷から
上場の延期も相次いでいる

～EXIT方針～

基本的にはIPOを目指すが、
未上場段階でのM&A等の
様々な選択肢を見据えたEXITを模索

～IPO以外でのEXIT事例～

D社 業種: 医療器具輸入販売

《FVCのハンズオン》

- ◆ 企業再生スキームにて、新会社を分離譲渡
- ◆ 役員派遣、経営陣の強化、組織の構築
- ◆ 財務状況が改善、事業が軌道に乗る

2007年12月 大手外資系企業へ売却(M&A)

投資株価 50,000円	→	売却株価 120,968円
-----------------	---	------------------

⇒約2.4倍

地域展開の推進

地域展開の推進

地方自治体や地方金融機関及び各ベンチャー支援組織等と連携して業務を行うことで、当社の活動領域を拡大し、投資先企業に対する支援を行います。また、各地域投資部に投資決定権を一部委譲するなど現場の権限を強め、より地域に密着した投資育成活動、ファンド組成活動に当たります。

■ 当社の強み・・・地域における豊富な実績と高い評価

実績：地方自治体ファンド受託 **11** 件（2号ファンド含む）、地元金融機関との連携ファンド **4** 件

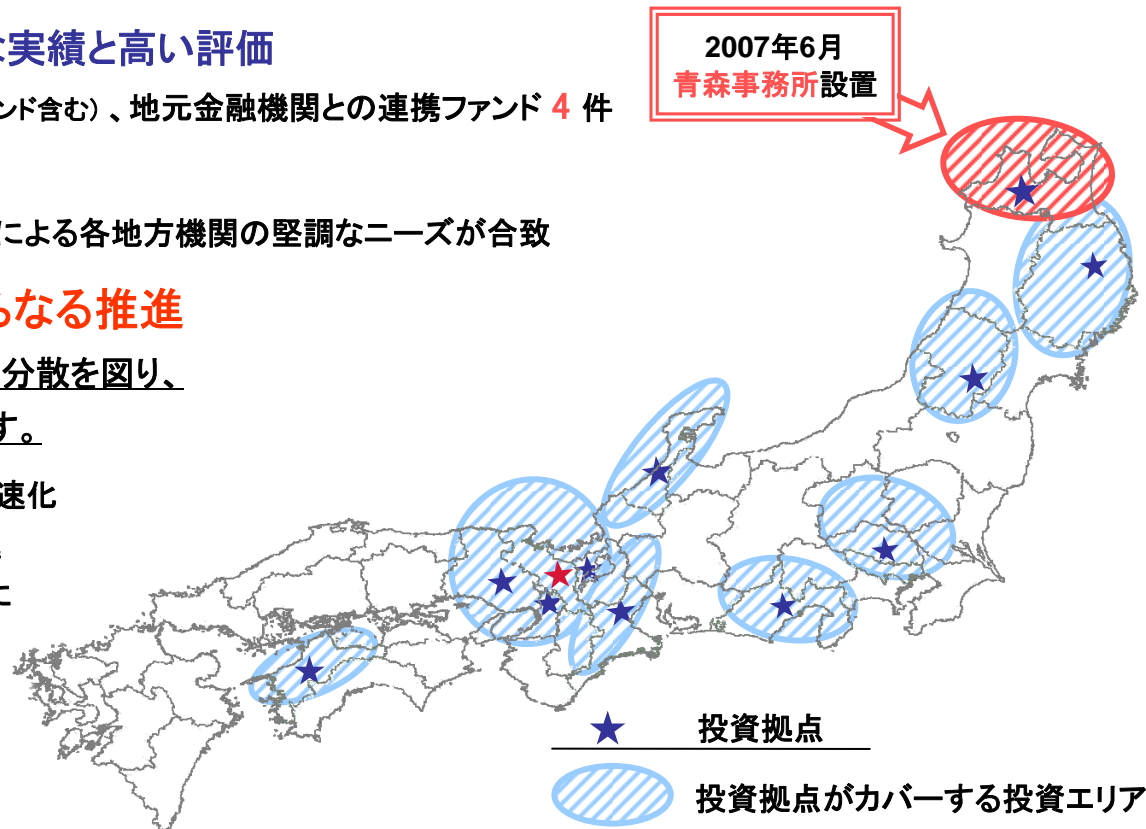
■ 推進体制と社会の流れの調和

FVCの地域密着型の投資と、地方分権改革による各地方機関の堅調なニーズが合致

⇒ 権限委譲による現場主義でさらなる推進

各地域投資部の権限を強めることで自律分散を図り、より地域に密着した投資活動を実現します。

- ＞ 地域の投資育成方針決定プロセスの迅速化
- ＞ 各地域における新ファンドの組成の促進
- ＞ クローズが近いファンド（石川、いわて）における、パフォーマンスの実現



多角的な収益の拡大

多角的な収益の拡大

これまでベンチャー企業への投資育成活動によって培ってきた当社のノウハウやネットワークを活かした、投資先企業以外へのコンサルティング業務やマッチング業務など、投資業務以外の収益を拡大します。

当社コンサルティング業務の実例

企業経営に関するコンサルティング

株式会社A

営業努力、経営努力するが業績が低迷し、キャッシュフローも好転しない

アドバイザーとして専門的な業務を受託
業務のデューデリを実施

問題点を抽出し、改善策の実施
FVCの取り組み

経営状態診断・財務改善計画策定
資本政策策定・資金調達計画策定
資本提携業務

地方自治体に対するコンサルティング

地域再生マネージャー事業

観光振興や産業振興など市町村の地域再生に資するため、具体的、実践的ノウハウを持つ企業や人材を派遣する総務省の事業

FVCの取り組み

- ・新規事業プランの目利き・フォローアップ
- ・市内既存企業への経営支援
- ・ふるさと再生基金の設立運営支援
- ・ビジネス支援システム全般の支援

安定的な黒字体質化へ

1. 着実なキャピタルゲインの実現
 - 当社創立間もない時期に設立したファンドがこの2～3年でクローズを迎える。
 - 注力する投資先企業の選定と幅広いEXIT手段により、堅実にキャピタルゲインを実現する。
2. 地域ファンドへの注力による、投資損失引当金繰入額と活動コストの抑制と安定化
 - 大型ファンドであるFVCグロースファンドのJカーブは底打ち。地域ファンドは、ファンド総額が5～20億円程度であり、投資損失引当金の新規繰入は落ち着くことが見込まれる。
 - 大型ファンドの募集や投資活動に合わせた先行投資がおさえられ、現状の収益構造に見合ったコスト管理を行っていく。
3. 投資事業以外の収益の確立
 - 投資事業における収益の変動を補う。

**堅実な収益で費用をまかなえるようにし、
安定的な黒字体質を目指す**

【参考資料】

直近5カ年の業績推移 ① (個別:主要項目抜粋)

(単位:百万円)

	第6期 2004年8月期	第7期 2005年8月期	第8期 ^{※1} 2006年3月期 【7ヶ月決算】	第9期 2007年3月期	第10期 2008年3月期
流動資産	1,569	2,212	3,122	3,689	3,834
営業投資有価証券 ^{※2}	1,126	1,831	1,927	2,463	2,900
営業出資金	105	-	-	-	-
投資損失引当金	△ 112	△ 217	△ 212	△ 112	△ 540
固定資産	67	100	114	233	214
流動負債	203	578	511	1,004	2,224
固定負債	343	250	211	469	177
純資産	1,089	1,484	2,514	2,448	1,647
総資産	1,636	2,312	3,237	3,923	4,049
自己資本比率	66.6%	64.2%	77.7%	62.4%	40.7%

※1 第8期(2006年3月期)は7ヶ月の変則決算となっています。

※2 営業出資金は第7期(2005年8月期)より営業投資有価証券に含まれています。

【参考資料】

直近5カ年の業績推移 ② (個別:主要項目抜粋)



(単位:百万円)

	第6期 2004/8月期	第7期 2005年8月期	第8期 ^{※1} 2006年3月期 【7ヶ月決算】	第9期 2007年3月期	第10期 2008年3月期
売上高	535	592	488	892	807
投資事業組合等管理業務	227	395	391	627	682
(うち成功報酬)	(7)	(72)	(0)	(18)	(2)
営業投資有価証券売上高	177	77	12	151	33
コンサルティング業務	121	111	73	101	77
売上原価	354	467	291	638	1,211
営業投資有価証券売上原価	70	32	43	236	64
投資損失引当金繰入額(△戻入額)	6	119	△ 4	△ 100	384
販売費及び一般管理費	167	198	144	304	332
営業利益(△損失)	13	△ 73	53	△ 49	△ 736
経常利益(△損失)	9	△ 90	35	△ 66	△ 788
当期純利益(△損失)	4	△ 101	32	△ 74	△ 800

※1 第8期(2006年3月期)は7ヶ月の変則決算となっています。

会社概要

(2008年3月末現在)



- 会社名 : フューチャーベンチャーキャピタル株式会社(FVC)
- 設立年月日 : 1998年9月11日
- 資本金 : 1,887百万円
- 発行済株式総数 : 32,357株
- 株式公開市場 : 大阪証券取引所ヘラクレス(8462)
- 所在地 : 京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町659番地
烏丸中央ビル8階
- 従業員数 : 67名
- 事業内容 : 未公開企業投資業務、投資事業組合の企画・運営
コンサルティング業務など